生物基礎旧カリ

学校番号	3010

令和５年度 理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂　NEWGLOBAL生物基礎（東京書籍）						
副教材等	ニューステージ生物図表（浜島書店）						

1担当者からのメッセージ(学習方法等)

『生物とは何か』というテーマのもと、様々な生物や生物現象について科学的に探究していく学問です。遺伝子の仕組みから体内環境、さらには生物の多様性まで幅広く基本的な概念を学んでいきます。毎回の授業でしっかりと学習し、所定の提出物をきちんと提出するなど、自らが主体的に授業に取り組むように心がけましょう。

履修条件
なし

2学習の到達目標

・生物の多様性を踏まえつつ、生物に共通する概念や原理・法則を理解する。
・遺伝子・健康・環境など、日常生活や社会とのかかわりを考えるために必要な科学的素養を高める。
・多様性と共通性という2つの視点から、生物や生命現象を探求する方法や姿勢を身に付ける。

3学習評価 評価 規準 と評価方法

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。 講義式、実験式いずれの授業においても主体的に行動する。	自然の事物・現象のなかに問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 授業内容について科学的な捉え方ができる。	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。 また、この知識を活用して発展的な応用ができる。	自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。また、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 学んだ内容を関連付けて整理され定着している。
評価方法	学習状況 提出物(ノート、レポート) 小テスト 定期考査	学習状況 提出物(ノート、レポート) 小テスト 定期考査	学習状況 提出物(ノート、レポート) 小テスト 定期考査	学習状況 提出物(ノート、レポート) 小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	生物の特徴と遺伝子	・多様な生物にみられる共通性 ・生物の共通性としての細胞 ・生体内におけるエネルギー変換 ・遺伝子について ・DNAの構造	○	○	○	○	a：生命活動に必要な構造やその仕組みを理解し関心を持って取り組んでいる。 b：生命活動に必要なエネルギーと代謝の仕組みについて理解できる。 c：顕微鏡観察を自ら留意しながら取り扱うことができる。 d：現象や仕組みを通して、遺伝子と細胞分裂の関係を理解している。	学習状況 提出物（ノート、レポート） 小テスト 定期考査
2	遺伝子のはたらき・体内環境	・ゲノムと遺伝情報 ・遺伝情報とタンパク質の合成 ・体内環境の特徴 ・体内環境の維持	○	○	○	○	a：セントラルドグマや恒常性について理解することができる。 b：塩基配列とタンパク質の合成過程や、自律神経とホルモンの仕組みを説明することができる。 c：生物から染色体やDNAを取り出す技術を習得している。 d：体内の仕組みを自らの体と関連させて、学習に取り組むことができる。	学習状況 提出物（ノート、レポート） 小テスト 定期考査
3	免疫・生態系	・免疫のしくみ ・植生とバイオームについて ・生態系のバランスと保全 ・生物の多様性について	○	○	○	○	a:免疫の仕組み、生態系、生物の多様性について理解することができる。 b：自然免疫や適応免疫などの違いがわかる。 c：生体防御の仕組みを理解し、今日行われている感染症に対する取り組み方法を理解できている。 d：生態系のバランスが生物にとっていかに大切なことであるかを身の回りの生物から、理解できている。	学習状況 提出物（ノート、レポート） 小テスト 定期考査

※　表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c:技能　　d: 知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。